

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	604 営繕工事事務					
予算科目	01-080101-14 営繕事務に要する経費			担当部課	建設部公共施設整備課	
市長公約				係名	建築第一係、建築第二係、建築第三係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	-			事業期間	毎年度	
根拠法令等	地方自治法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	
					17パートナーシップで目標を達成しよう	

事業の概要

対象	施設利用者、施設管理者
目的	公共施設整備課で営繕工事等の発注支援及び監督業務等に係る事務を一括して行うことで、市有建築物に係る工事の品質を確保するため。
概要 (取組内容)	設計工事額130万円を超える営繕工事の発注支援及び監督業務を行う。 営繕工事に係る設計業務の発注支援及び監督業務を行う。 設計工事額10万円以上130万円以下の、工事請負費にて支出を行う修繕工事の発注支援及び監督業務を行う。

コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	3,967	4,193	5,577	5,929	5,929	
	決算額	(千円)	3,386	3,810	5,173	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	3,386	3,810	5,173	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	102,666	94,125	94,918	81,298	81,298	
	内訳	正職員従事割合	(人)	14.50	12.75	13.00	11.00	11.00
		正職員時間外勤務	(時間)	1,658.00	2,878.41	2,613.00	2,613.00	2,613.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	営繕工事の契約件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	57.0	58.0	67.0	53.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	営繕工事の設計業務の契約件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	40.0	69.0	53.0	53.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	修繕工事の依頼件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	712.0	611.0	234.0	179.0	0.0	0.0
	指標の概要	主管課からの修繕依頼件数					
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・学校建設などの大規模事業では、請負者、監理者、主管課が出席する定例会議を毎週実施したが、この他にも必要に応じ打合せを行い、関係各所との連携強化を図った。 ・職員の育成では、外部研修への参加や専門図書等の購入によって知識や技術の習得に努めた。 	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・関係各所が互いに誤解を招かぬよう打合せを密にすることで、自分の専門分野だけでは見えないものが見え、相互理解を維持しながら事業を完了することができた。 ・昨年度に引き続き、適正な発注及び的確な監督業務を継続して実施することで、公共建築工事の品質が確保された。 	
課題	業務	・長寿命化改修工事などの事業が円滑に実施されるよう庁内他部署との連携強化が必要である。
	組織、予算等	・施工内容が大規模で複雑な長寿命化改修工事は、建築、設備、構造等の知識が必要とされるので、さらなる監督職員の育成が必要である。
改善目標	・公共建築工事の品質確保のため知識や技術の蓄積を行い、職員を育成する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-